



～㊦っこりたのしむ ㊧っかりがんばる～

西の子だより

みえにししやうがっこう
三重西小学校
がっこうつうしん
学校通信
2024/10/1

ぜんこくがくりよく がくしやうじやうきやうちやうさ けっか 全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が届きました。その結果をもとに三重西小学校6年生の学力や学習に関する状況について分析を行いました。

ちやうさけっかがいよう 【調査結果概要】

この調査の内容は、教科に関する調査(国語、算数)、児童の学習・生活習慣などに関する調査(児童質問紙)、学校の取組状況に関する調査(学校質問紙)です。

きやうか かん ちやうさ 教科に関する調査

ほんこウ へいきんせいとうりつ こくご さんすう ぜんこくへいきん したまわ けっか
本校の平均正答率は、国語・算数ともに全国平均を下回る結果となりました。

がくりよくちやうさ つよ よわ 学力調査の「強み」と「弱み」について

こくご 【国語】

【設問3の3】【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く設問について、全国の正答率を上回っています。

☞「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうか」について理解が定着していると言えます。

【設問1の3】オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかの説明として適切なものを選択する設問について、全国の正答率を下回っています。

☞「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり、関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうか」について課題が見られます。

さんすう 【算数】

【設問1の(2)】はじめに持っていた折り紙の枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ設問について、全国の正答率とほぼ同等です。

☞「数量の関係を□を用いた式に表すことができるかどうか」について理解が定着していると言えます。

【設問3の(3)】直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く設問について、全国の正答率を下回っています。

☞「球の直径の長さ立方体の一辺の長さの関係をつかえ、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうか」について課題が見られます。



課題解消に向けた取り組み

【国語】

- 国語は、問題文を含め「読み取り」に課題がある結果でした。文章を的確にとらえられるよう、5W1Hを確認し、共通点や相違点など内容を整理して読み取りを進めるように取り組みます。
- 言葉の特徴や使い方に関する事項で課題が見られました。自分の書いた文章をまず自分で読んで確認し、ペアやグループで読み合い、自分が伝えたいことを適切に表現する力を高めていきます。
- 漢字は、誤答の割合が高かったので、使用する機会を保障し、間違えやすい漢字について、適宜指導するよう努めます。また、意味とつなげて捉えながら習得できるよう取り組みます。

【算数】

- 算数は国語と同様、文章問題の読み取りに課題がある結果でした。朝の帯授業や家庭学習などを利用し、多くの問題に触れ、尋ねられていることを的確に理解できる力を高めていきます。
- 文章からイメージすることができるよう、具体物等の操作をする活動を取り入れ、出題の趣旨を的確に捉えられるよう取り組んでいきます。
- データ活用について、理科や社会科等で日常的にデータやグラフを考察する活動を取り入れたり、身近な生活の中で必要なデータを収集し、グラフを作成して特徴や傾向を読み取ったりする活動を取り入れ、経験を基に理解を図っていきます。



続いて、「全国学力・学習状況調査」の児童質問紙・学校質問紙の結果分析をお伝えします。

児童質問紙の調査結果

質問に対する本校児童の肯定的回答（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）の割合を全国の回答割合と比較したところ、以下のような特徴が見られました。

【全国よりも肯定的回答の割合が高かった質問】

【生活面】

【質問8】健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか。

三重西小学校は、四日市市教育委員会から体力向上推進校の指定を受けています。その取り組みの一環でKenkyuK理学療法士の方や養護教諭から体や健康に関する話を聞いていることが、普段の生活に結びついていると考えられます。また、健康維持に欠かせない規則正しい生活リズムについて、ご家庭で支えていただいているおかげでもあります。



【質問15】人の役に立つ人間になりたいと思いますか

この質問の肯定的回答の割合は100%でした。これまで、保護者の方、いきいきサロンやしろやま倶楽部、見守り隊、どんぐりの会など、地域のたくさんの皆さんにさまざまな場面で支えられてきた経験から、大人になったら「自分が支える側に」との思いが子どもたちに膨らんでいったのでは、と考えます。

【学習面】

【質問27】5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



【質問29】5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

☞両質問とも肯定的な回答が全国よりも相当高い割合でした。ICT機器活用に関する他の質問も全国をすべて上回る割合でした。ICT機器が子どもたちの学習・生活に位置づいていることが窺えます。

【全国よりも肯定的回答の割合が低かった質問】

【生活面】

【質問11】将来の夢や目標を持っていますか

☞必ずしも6年生の時期に将来の夢や目標を持っていないといけないということではありません。ただ、夢や目標を持つことができれば、その達成に向けた努力や成長が明確になる、ということもありますので、多くのことに触れ、視野を広げていき、やりたいことを見つけてほしいと思います。

【質問18】土・日曜日など学校が休みの日に、どのくらいの時間、勉強をしますか

☞家庭学習の様子で、休みの日に1時間以上勉強する割合が、全国に比べてかなり低いことが明らかになりました。今年度から新たに導入しているプラスワannot(自主学習)の充実を図り、自主的に計画をして家庭学習に取り組むことの重要性を伝えていきますので、ご家庭でも声掛け等の支援をお願いします。

【学習面】

【質問47】国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか



【質問48】国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか

☞国語では、自分の考えの表現に関する質問で、肯定的回答が低い状況でした。学力調査でも課題が見られる項目でした。授業改善を行い、考えを伝える際には「目的を明確にする」「段落を使い分ける」「具体例や証拠を挙げる」「適切な言葉を選ぶ」等のポイントを意識する力の育成に努めます。

※ 6年生に「全国学力・学習状況調査の結果個票」を渡しましたので、併せてご覧いただきますようお願いいたします。

※ 全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料（国立教育政策研究所）

<https://www.nier.go.jp/24chousa/24chousa.htm>